

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年8月14日

【四半期会計期間】 第9期第1四半期(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

【会社名】 株式会社アスラポート・ダイニング

【英訳名】 Asrapport Dining Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 檜垣 周作

【本店の所在の場所】 東京都港区高輪二丁目16番29号

【電話番号】 03-6459-3231(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 中村 敏夫

【最寄りの連絡場所】 東京都港区高輪二丁目16番29号

【電話番号】 03-6459-3231(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 中村 敏夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第8期 第1四半期 連結累計期間	第9期 第1四半期 連結累計期間	第8期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	1,776,082	2,673,086	9,396,404
経常利益 (千円)	99,460	249,031	460,957
四半期(当期)純利益 (千円)	75,555	207,482	300,648
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	75,532	215,496	308,388
純資産額 (千円)	1,488,689	2,092,487	1,886,491
総資産額 (千円)	3,429,060	9,609,250	9,728,362
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	4.14	11.18	16.41
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	3.99	10.74	15.83
自己資本比率 (%)	42.4	20.4	18.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、当第1四半期連結会計期間において、新たに設立したASRAPPORT FRANCE SASを連結の範囲に含めておりません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

外食産業におきましては、業態により消費マインドの回復が見られているところはあるものの、円安等による原材料価格の上昇や、企業間競争の激化など不安定要素も多く、先行き不透明な状態が続いております。

このような中で、当社グループは「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げ、「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化への取り組み」の各課題に取り組みました。

株式会社プライム・リンクでは、「牛角」でファミリー層への取り組みを強化、お子様向けのイベントや母の日、父の日キャンペーンなど家族で利用頂けるシーンを増やす施策を実施しました。また「とりでん」では、郊外立地を活かして地域密着の昼宴会などを企画、新たな需要の掘り起こしへの取り組みを開始しました。前期から改善に取り組んでいる「おだいどこ」直営店は、メニューの効率化等が奏功し営業利益が改善基調となっております。

株式会社とり鉄では4月にメニュー変更を実施、メニュー数の削減によるオペレーション及び食材管理の効率化により直営店の原価率が低減しました。

こうした結果、外食事業に於ける既存業態売上高前年同期比においては、「牛角」99.4%、「とりでん」96.1%、「おだいどこ」97.7%、「とり鉄」100.7%、グループ全体で98.9%となりました。

また、平成25年9月にグループに加わった乳製品加工の株式会社弘乳舎及び、平成25年12月に子会社である株式会社フードスタンド・インターナショナルが譲り受けた洋菓子製造販売のGOKOKU事業により、売上、利益は前年同期比で大幅に増加しました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,673百万円（前年同四半期比50.5%増）、営業利益は266百万円（前年同四半期比184.5%増）、経常利益は249百万円（前年同四半期比150.4%増）、四半期純利益は207百万円（前年同四半期比174.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

店舗運営

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの直営店舗数は42店舗となり、前年同期に比べ3店舗減少しました。「GOKOKU」6店舗が加わった一方、「とり鉄」はフランチャイズ加盟店への譲渡等により4店舗が減少し、「おだいどこ」、「たこばやし」他計5店舗を閉店しました。その結果、当第1四半期の店舗運営の売上高は690百万円（同4.8%減）、営業利益63百万円（同465.4%増）となりました。

フランチャイズ

当第1四半期連結会計期間末における当社グループのフランチャイズ店舗数は300店舗となり、前年同期に比べ1店舗減少しました。「牛角」で6店舗、「とり鉄」で1店舗が増加した一方、「とりでん」、「おだいどこ」、「たこばやし」で計8店舗が減少しました。その結果、フランチャイズの売上高は783百万円（同7.5%減）、営業利益291百万円（同13.6%増）となりました。

食品

食品事業においては、乳製品加工事業を行う株式会社弘乳舎がグループ内企業への商品供給を開始したことや、外部顧客への拡販に注力したことにより食品の売上高は836百万円、営業利益は116百万円となりました。

その他

転貸における売上、加盟企業向け販促物の売上、通販や催事における商品売上等を中心に、売上高は362百万円（同77.4%増）、営業利益46百万円（同413.6%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	49,500,000
計	49,500,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	18,553,258	18,694,052	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株 であります。
計	18,553,258	18,694,052		

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成26年8月1日から本四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日		18,553,258		741,591		441,591

(注) 平成26年7月1日から平成26年7月31日までの間に第1回無担保転換社債型新株予約権付社債に付されている新株予約権の権利行使により、発行済株式総数が140,794株、資本金及び資本準備金がそれぞれ19,500千円増加しております。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,550,300	185,503	
単元未満株式	普通株式 558		
発行済株式総数	18,553,258		
総株主の議決権		185,503	

【自己株式等】

平成26年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社アスラポート・ ダイニング	東京都港区高輪二丁目16 番29号	2,400		2,400	0.01
計		2,400		2,400	0.01

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,650,084	2,932,381
受取手形及び売掛金	1,078,951	820,376
商品及び製品	406,477	336,353
仕掛品	8,196	13,411
原材料及び貯蔵品	35,769	29,365
その他	774,305	789,315
貸倒引当金	14,477	11,183
流動資産合計	4,939,307	4,910,021
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,397,300	1,397,300
その他(純額)	742,670	711,633
有形固定資産合計	2,139,970	2,108,933
無形固定資産		
のれん	1,628,727	1,587,587
その他	30,582	28,334
無形固定資産合計	1,659,310	1,615,922
投資その他の資産	989,775	974,374
固定資産合計	4,789,055	4,699,229
資産合計	9,728,362	9,609,250

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	649,354	546,732
短期借入金	608,600	566,100
1年内返済予定の長期借入金	982,323	1,068,516
未払法人税等	84,566	83,112
賞与引当金	30,692	37,081
店舗閉鎖損失引当金		6,320
資産除去債務	3,835	3,835
その他	913,723	810,029
流動負債合計	3,273,095	3,121,727
固定負債		
社債	122,500	107,500
新株予約権付社債	75,000	75,000
長期借入金	3,306,084	3,211,207
役員退職慰労引当金	50,862	
退職給付に係る負債	91,571	91,841
資産除去債務	83,666	83,493
その他	839,091	825,993
固定負債合計	4,568,775	4,395,035
負債合計	7,841,870	7,516,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	741,591	741,591
資本剰余金	699,888	699,888
利益剰余金	314,831	522,314
自己株式	1,428	1,428
株主資本合計	1,754,882	1,962,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	846	477
為替換算調整勘定		43
その他の包括利益累計額合計	846	434
新株予約権	45,741	36,241
少数株主持分	85,021	93,446
純資産合計	1,886,491	2,092,487
負債純資産合計	9,728,362	9,609,250

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,776,082	2,673,086
売上原価	946,326	1,624,580
売上総利益	829,755	1,048,506
販売費及び一般管理費	736,173	782,277
営業利益	93,581	266,229
営業外収益		
受取利息	1,745	3,448
受取補償金	7,299	
その他	1,964	2,618
営業外収益合計	11,009	6,066
営業外費用		
支払利息	2,844	19,429
支払手数料	1,370	
その他	915	3,834
営業外費用合計	5,131	23,264
経常利益	99,460	249,031
特別利益		
新株予約権戻入益	3,375	9,500
役員退職慰労引当金戻入額		50,862
特別利益合計	3,375	60,362
特別損失		
固定資産売却損	184	
固定資産除却損	3,397	4,602
店舗閉鎖損失引当金繰入額	13,858	6,320
その他		2,000
特別損失合計	17,440	12,923
税金等調整前四半期純利益	85,394	296,470
法人税、住民税及び事業税	8,831	79,931
法人税等調整額	1,007	631
法人税等合計	9,838	80,562
少数株主損益調整前四半期純利益	75,555	215,908
少数株主利益		8,425
四半期純利益	75,555	207,482

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	75,555	215,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	369
為替換算調整勘定		43
その他の包括利益合計	22	412
四半期包括利益	75,532	215,496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,532	207,070
少数株主に係る四半期包括利益		8,425

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したASRAPPOR FRANCE SASを連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

一部の連結子会社は、資金調達の機動性を高めるため、取引銀行と当座貸越契約を締結しております。なお、当四半期連結会計期間末日における当融資枠に基づく借入の実行状況は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
当座貸越限度額	1,380,000千円	1,380,000千円
借入実行残高	400,000千円	400,000千円
差引額	980,000千円	980,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
減価償却費	19,906千円	21,100千円
のれんの償却額	15,124千円	41,140千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	店舗運営	フランチャイズ	食品	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	725,395	846,253		1,571,648	204,434	1,776,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高		85,019		85,019	552	85,572
計	725,395	931,272		1,656,667	204,986	1,861,654
セグメント利益	11,183	256,811		267,994	9,114	277,108

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フランチャイズ加盟店及び一般飲食店への販売促進コンサルティング事業、飲食店舗転貸事業及び店舗開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	267,994
「その他」の区分の利益	9,114
全社費用(注)	183,527
四半期連結損益計算書の営業利益	93,581

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	店舗運営	フランチャイズ	食品	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	690,876	783,167	836,437	2,310,481	362,605	2,673,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高		147,469	3,858	151,328	2,225	153,553
計	690,876	930,636	840,296	2,461,809	364,830	2,826,639
セグメント利益	63,230	291,735	116,395	471,360	46,813	518,174

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フランチャイズ加盟店及び一般飲食店への販売促進コンサルティング事業、飲食店舗転貸事業及び店舗開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	471,360
「その他」の区分の利益	46,813
全社費用(注)	251,945
四半期連結損益計算書の営業利益	266,229

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	4円14銭	11円18銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	75,555	207,482
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	75,555	207,482
普通株式の期中平均株式数(株)	18,262,105	18,550,858
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	3円99銭	10円74銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		120
(うち支払利息(税額相当額控除後)(千円))	()	(120)
普通株式増加数(株)	667,978	783,940
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		第5回新株予約権 普通株式 570,000株

(重要な後発事象)

1. 転換社債型新株予約権付社債に付されている新株予約権の行使による増資

平成26年7月1日から平成26年7月31日までの間に第1回無担保転換社債型新株予約権付社債に付されている新株予約権の一部について権利行使がありました。当該新株予約権の権利行使の概要は次のとおりであります。

(1) 発行した株式の種類及び株式数

普通株式 140,794株

(2) 増加した資本金

19,500千円

(3) 増加した資本準備金

19,500千円

これにより、平成26年7月31日現在の普通株式の発行済株式数は、18,694,052株、資本金は761,091千円、資本剰余金は719,388千円となりました。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月14日

株式会社アスラポート・ダイニング
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 吉 田 光 一 郎 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 千 島 亮 人 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アスラポート・ダイニングの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アスラポート・ダイニング及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、無担保転換社債型新株予約権付社債に付されている新株予約権の権利行使がなされている。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

